# 釧路みなとオアシスの構成施設



# 国土交通省

別紙-3(1)

#### エッグ 代表施設 釧路フィッシャーマンズワーフMOO&EGG



釧路の観光拠点として、年間約70 万人の旅行者を受入れ、水産加工 品やお土産などの販売、食堂や軽 食喫茶なども営業している。 多言語対応の観光案内所を備え、 クルーズ船おもてなし時は外国人 観光客に対して、着物の着付け体 験、書道・茶道体験などの日本文 化を通した交流イベントを開催。



着物の着付け体験





観光案内所

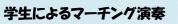
## 構成施設 釧路港耐震・旅客船ターミナル



クルーズ船の寄港時の接岸場所と なっており、お出迎え・お見送り のイベント等が実施され、賑わい の場となっている。

耐震・旅客船ターミナルとして大 規模地震時には、臨海部防災拠点 となり、船舶により地域の緊急物 資や被災地の復旧のための資機材 の受入を行う。







釧路市観光大使 おもてなしソング



くしろ蝦夷太鼓演奏

# 構成施設 釧路市観光国際交流センター

書道体験



国の内外を問わずさまざまな交流 の拠点として利用されることを目 的に建設された都心部の屋内型多 目的施設。広々としたホールにフ ラットな床面、同時通訳ブース、 音響AV機器など、充実した設備と なっており、「物産店や各種展示 会」、「各種まつりやイベント」、 「各種学会や国際会議」の会場と して利用されている。

#### さいわいちょう 構成施設 幸町緑地



「くしろ霧フェスティバル」、 「釧路大漁どんぱく」、「くしろ 冬まつり」など、釧路の季節に因 んだ各種イベントが開催され、周 辺住民や観光客等多くの来場者で 賑わう。災害時には防災拠点とし て、平常時には野外ステージとし て機能する。

# くしろ霧フェスティバル (7月)

霧の発生率が日本一という霧の街釧路。多いときで年間発生日数が100日にもなるこの霧を逆に楽しむために構成施設の幸街緑地の野外ステージで開催されるイベント。霧に包まれた夜空を色鮮やかに彩るレーザーとサウンドが織りなす幻想的な空間を楽しむことができる。





### 釧路大漁どんぱく(9月)

大地の恵み、大海の幸・大空の華をテーマに2004年から開催される食と花火が癒合したお祭り。新鮮な海産物を使った屋台をはじめ、花火大会では道内でも最大級を誇る三尺玉が秋の風物詩となっており、多くの市民や観光客で賑わっている。





# くしろ冬まつり (2月)

1965年から始まった長い歴史のイベントであり、メイン会場となる構成施設の釧路市観光国際交流センター前庭には氷雪像や氷雪すべり台が設置され、チューブスライダーも楽しめる。 夜にはライトアップや花火の打ち上げが行われ、光と雪の幻想的なコラボレーションを見ることができる冬の釧路の一大イベント。



